

# 生きる力

## 第 49 号

平成 30 年 12 月 10 日  
文責発行：中西秀幸  
〒745-0302  
周南市鹿野上 3217 番地  
TEL 0834(68)2106  
FAX 0834(68)2103

29日鹿野小学校の校内持久走大会を見に行きました。大きな声と拍手で応援していたら子供達の頑張る姿に涙がこぼれました。孫が居なかったら気後れして行かなかったかもしれないですが、この感じがいないと参観しにくいですが、この感動を味合わないのはもったいないです。



# 鹿野の歴史を広く深く学ぶ

鹿野おもてなし塾を11月3日受講致しました。鹿野に来られた方に地域のよい場所よいモノを紹介できる、そういうおもてなしができるようになったからです。講座は六講座で毎月一講座を開催。受講は誰でもできます。第三回は1月19日土曜日、鹿野の散策コースを考えようのテーマでの開催が予定されています。

第一回のテーマは、鹿野のお寺の歴史と漢陽寺にまつわるお話でした。頂いた小冊子「漢陽寺庭園と作庭家重森三玲」によると鹿野市街地周辺のお寺はおおむね大内氏によって開基、その中で平成19年に解体された中山観音堂がもつとも古かったようです。恥ずかしながら、解体その事実をその日まで知りませんでした。12世紀から15世紀に大内氏によって開

基されたお寺のうち、現在まで続いているのは漢陽寺だけらしいです。その漢陽寺の山門には砲弾跡と言われている穴があります。「幕末維新と徳地」吉松文雄著によると明治3年4月7日、徳地では伏野戦争とよばれる暴動があった。その暴動を起したのは、脱隊兵やすでに帰順していた兵で翌4月8日木引谷を経由して串、鹿野へと敗走。百名余りの敗走兵は漢陽寺を屯所としてさらに戦いそのあと遁走。首魁者らしき者としてあの松下村塾の富永有隣もいたとあります。その記述を信じれば漢陽寺の山門の穴は常備兵によるものです。なお、脱隊兵とは、戊辰戦争を戦った遊撃隊や奇兵隊等の諸隊のうち常備



軍に採用されなかった兵、その処遇への不満から伏野戦争前年の明治2年12月県内各地で暴動を起した兵です。一連の脱隊騒動は維新を戦いぬいた長州兵同士討ち、二千人の常備軍採用者には士族出身者が多く不採用となった三千人は農民出身者が多い、薩摩はその将兵八千人全てを常備軍としたことなどから外聞をはばかって隠そうとされてきたともありました。歴史の真実にたどり着くのは簡単ではありませんが、今回頂いた小冊子と吉松先生の本の記述とは少し異なる部分がございます。その違いを知り調べることで歴史の真実が明らかになってゆくのだと思います。当たり前ですが鹿野の歴史は周辺地域の歴史と関わって成り立っています。幅広く深く学び知る事が大切だと思えました。

# 地域づくり！理念と使命の共感から

6日鹿野夢プラン策定に係る研修視察に参加。視察先は三次市と庄原市で事業を展開している社会福祉法人の優輝会でした。障害者が働く場所でもあるレストランとパン工房・保育施設・デイサービス等の複合施設「コージージャーデン」、相談所・障害者グループホーム・小規模多機能型介護事業所「横山旅館」、共生型福祉施設「ゆうしゃいん庄原」を視察。最後に理事長の熊原保氏のお話を聴かせて頂きました。社会福祉事業は広い意味で、地域経済の再建を担う社会貢献ととらえる経営実践が必要。これまで地域活性化、まちづくりは行政が中心に行ってきましたが、これからは福祉施設が核となる。18事業所のスタッフは300人、従業員数から言えば地域の大企業です。「あなたが輝けばわたしも」が一番大事な理念。「ここに生れてよかった」「ここに住んでよかった」と喜びに湧くわくする地域にするがその使命だそう。地域の衰退は人口減少だけではなく。地域産業の空洞化も深刻な問題。道路や治水の公共事業が地域の経済を支えていた時代は終わった。そのあとを担う新しい産業を生み出すのは至難の業、そんな中にある福祉が雇用と生産の場となれる事を実証されました。

今回、若者就業が私の最大関心事でしたが約50人の就業がありました。やりがいはいと一人の若者に訊ねたら「はい」の返事。その理念と使命への深い共感からの返事だと思いました。

## 地域イベントご紹介

- ・場所 コアラザかの大会議室
- ・日程 12月16日(日)
- ・時間 12時半開場 13時開演
- ・内容 落語、笑いヨガ、一人芝居他
- ・問合せ 09071359576
- ・主催 喜楽茶屋実行委員会
- ・◎夢プラン中間報告&交流会
- ・場所 コアラザかの2階大研修室
- ・日程 12月23日(日) 送りあり
- ・時間 中間報告14時 交流会16時
- ・内容 わがまちチェック 語る会
- ・会費 2千円(酒付)1300円(酒無)
- ・申込み 14日迄 問合せ 682094

27日の教育講演会で霜川正幸先生のお話を拝聴。これからの教育は学校、教育委員会、家庭、地域の4者によるコミュニケーション、地域の4者によるコミュニケーション、地域づくり目標がハードからソフトへの変化がある。その中にある教育の使命は、故郷を支える原動力となつてくれる若者を育てること。その実現には教育だけでなく産業振興が必要だが、たとえ地域外に就職するしかなくても故郷へ貢献できる若者を輩出する。そのため子供が小さい時から地域みんなに関わり、その体験を通して地域の魅力を教え伝える。地域が大好きな人間を育てよう。コミュニケーションは、その起爆剤であり地域づくりです。地域に貢献する学校、学校を支援できる地域になろう。

## 周南掃除に学ぶ会

私は掃除が好き、徳になると感じるから続けてきました。掃除後の清々しい気持ちと日常生活の自分の生き様を振り返られることが私の得であり徳です。12月は新丁公園のトイレを23日(日曜日)7時半より2時間の予定で掃除します。長靴を履いてご参加下さい。お待ちしています！道具準備のため事前申込をお願いしています。が、当日の飛入り参加もOK！